

2017年9月12日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

## ディープラーニングに特化した NVIDIA 社製サーバを取り扱い開始 国内で初めてディープラーニング分野で NVIDIA 社のパートナーに認定

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、並列コンピューティングの先進企業である米 NVIDIA Corporation(Founder, President and CEO:Jensen Huang、本社:アメリカ合衆国カリフォルニア州、以下:NVIDIA 社)の AI スーパーコンピュータ「DGX-1」の販売\*1を本日から開始します。画像や音声などのデータを機械的に認識し、分析するディープラーニング技術を活用して業務の自動化や予測の高度化を図る、製造業や情報サービス業、流通業の企業を中心に展開します。DGX-1 を含めた AI システムの構築や運用サービスと合わせて3年間で20億円の売上を目指します。

近年、ニューロン(神経細胞)が情報伝達する仕組みを模倣したディープラーニング技術が普及し、AI の実用化が急速に進んでいます。しかし、ディープラーニングは並列処理を駆使する技術で、計算の速度や正確さを確保して実際のビジネスで使用するには、高性能なコンピューティングリソースが求められます。また、使用する環境や目的、計算対象に応じて様々なソフトウェア(ライブラリ)があるため、検証や開発を含めた環境構築にも多くの時間がかかります。

NVIDIA 社は、並列コンピューティング分野で20年以上にわたり業界をリードしており、2006年からは、画像処理で使用される演算装置(GPU:Graphics Processing Unit)を画像以外の処理にも用いてコンピュータの性能を向上させています。

今回、CTCが取り扱う DGX-1 は、NVIDIA 社が並列コンピューティングやディープラーニングに向けてハードウェアのアーキテクチャを最適化した AI スーパーコンピュータで、960 テラ FLOPS(1秒間に960兆回の浮動小数点数演算)の性能を実現する GPU\*2を搭載し処理の高速化を図っています。画像や音声認識、自然言語処理などのディープラーニングの各種のソフトウェアや Docker によるコンテナ技術\*3を備えており、DGX-1 を使用するお客様は環境の準備に時間を費やすことなくディープラーニングに取り組むことができます。また、NVIDIA 社が提供するクラウドサービスによって、DGX-1 のハードウェアについての状態確認やソフトウェアの最新版への更新などを簡単に行うこともできます。

CTC は、企業データの分析や評価を担う大規模なシステムや、グリッド社の AI 開発基盤「ReNom」を活用した、製造業やサービス業でのディープラーニングシステムの構築実績があり、既存システムとの連携やフロントエンドの開発などを含めて、DGX-1 の導入設計から各種の設定、運用をサポートします。GPU を使用した製造や建築向けのソフトウェア\*4も自社開発しており、DGX-1 を中心としたシステムのインフラからアプリケーション開発を含めて、お客様の目的に応じた AI システムを提供します。

今回、NVIDIA 社パートナープログラム「NVIDIA Partner Network」のディープラーニング分野で国内初のパートナー認定「Deep Learning Competency」を受けており、NVIDIA 社との連携のもと、DGX-1 の普及を通してお客様の更なる業務効率化やデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

<NVIDIA 社 DGX-1>



今回の発表に際し NVIDIA 社から以下のコメントをいただいています。

ディープラーニングは現代 AI におけるコアテクノロジーであり、DGX はそれを実現する最も先進的なソリューションです。高い技術力と実績を持つ CTC を通じ、DGX を日本の多くのお客様にお届けすることが可能となることで、日本の産業が活性化されると期待しています。

エヌビディア

日本代表 兼 米国本社副社長 大崎 真孝

- \*1 研究者やデータサイエンティスト向けのデスクトップ型コンピュータ「DGX STATION」の取り扱いも開始。
- \*2 最新の NVIDIA 社 GPU である Tesla V100 の演算性能。10 月から出荷開始を予定している。
- \*3 コンテナ: アプリケーションを安全に独立して稼働させるための OS (Operating System) 上の仕組み。アプリケーションの配備や削除などを容易に行うことができるようになるため、開発環境やテスト環境の準備、本番環境への移行などが迅速に実現できる。Docker は、Linux 上で稼働するコンテナのオープンソースソフトウェアで、現在デファクトスタンダードになっている。
- \*4 超音波解析ソフトウェア「ComWAVE™」。超音波を用いた構造物など、様々な問題について 10 億要素規模の膨大なメッシュを駆使した高精度なシミュレーションを可能にする。2006 年から販売を開始し、2012 年に GPU に対応した。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
広報部

TEL: 03-6203-4100 / E-mail: [press@ctc-g.co.jp](mailto:press@ctc-g.co.jp)